

1 題材名 身近な人のことをもっと知ろう

2 題材について

本学級は、○年生○名が在籍する知的障害特別支援学級である。本時は、○年生 A 児による個別の自立活動である。

本題材の「身近な人のことをもっと知ろう」は、身近な友達や教師に関するクイズを通して、自分から話しかけたり、相手の話に興味をもったりする機会を増やすことをめあてとしている。クイズの正解を確認した後は、補足説明や教師からのメッセージを伝えることで、より他者意識をもつことができるようにしたいと考える。

指導にあたっては、視覚的な情報が優位である本児の特性を踏まえ、ICT機器を活用した教育用アプリ「Kahoot!」でクイズを出題する。本児のつぶやきや思いを十分に受け止めながらクイズを進めることで、安心して活動に参加できるように支援したい。

3 児童の実態と個別目標

	題材における実態	題材における目標
A	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対する興味は薄く、相手の気持ちに共感することが難しい。 ・自分の興味のあることを一方的に話し続けることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人に対して興味をもち、関わり合う素地を作ることができる。 <p style="text-align: right;">【3-(1)】</p>

4 指導計画と評価(4時間扱い)

時間	学習内容・活動	評価
		A
1	・「Kahoot!」で、○○学級の友達クイズをする。	・身近な友達の名前(姓・名)を覚えたり、友達の趣味に共感したりすることができる。
2 (本時)	・「Kahoot!」で、○○学校の先生クイズをする。	・関わりのある教員の名前(姓・名)と顔を覚えたり、趣味に共感したりすることができる。
3	・「Kahoot!」で、自分のことクイズを作る。	・自分の得意なことや趣味をクイズにすることで、他者との関わりに対する抵抗感を軽減することができる。
4	・前時に作成したクイズを、友達に出題する。	・他者に自分自身のことを知ってもらい、基本的な信頼関係を築くことができる。

5 本時の目標

(1) 個別の目標

I C T機器を活用したクイズを通して、関わりの深い教員の名前や顔を覚えたり、相手の趣味や得意なことを共感的に受け止めたりすることができる。

(2) 準備・資料

・ホワイトボード ・パソコン(教師) ・タブレット(児童) ・梱包用気泡緩衝材(プチプチ)

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価(◎ 評価)
<p>1 はじめのあいさつをする。</p> <p>2 本時の学習のめあてと流れを知る。 先生たちのことをもっと知ろう。</p> <p>(1) ウォームアップ (2) Kahoot!で先生クイズ (3) 振り返り</p> <p>3 ウォームアップをする。 ・梱包用気泡緩衝材(プチプチ)で指の運動</p> <p>4 「先生クイズ」をする。 (1) 児童のタブレットから「kahoot!」にログインする。 (2) 3つの選択肢から答えを選ぶ。 (3) 補足説明を聞く。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>6 片付けをする。</p> <p>7 次時の活動内容を知らせ、終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タイマーを設置して、学習の始まりの時刻を知らせ、休み時間から学習時間への気持ちの切り替えができるようにする。 ・学習内容と順序を掲示しながら一つ一つ一緒に確認し、見通しがもてるようにする。 ・本児の気持ちが安定しないときはパーティションで机を囲みながら参加することを認め、安心できる雰囲気作りに努める。 ・説明を聞くときはタブレットを閉じておくなど、使い方のルールを確認する。 ・次の活動に取りかかるまでに時間を要する実態を踏まえ、椅子に座ったままでできる簡単な指の運動をウォームアップとして取り入れる。 ・教師が提示したピン番号をタブレットに打ち込み、クイズに参加する準備をする。 ・「○○先生の好きな食べ物は?」「△△先生が子どもの頃になりたかった職業は?」など、親近感が得られるクイズを20問設定する。 ・答えを確認するだけではなく、その理由やA児に対するメッセージを補足し、他者との関わりが受容しやすくする。 ・写真を提示して、教員の名前やクイズに出された内容を言葉で確認する。 <p>◎身近な教員の名前と顔を一致させて、人物に興味をもつことができたか。 (観察・発表)</p> <p>【目標を達成した児童の姿】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>児童の行動やつぶやき 最後までクイズに参加して、「○○先生は△△が好きなことが分かった。」等の発言をすることができる。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・A児には、ウォームアップで使用した梱包用のプチプチを片付ける役割を与え、机上の整理整頓が意識できるようにする。すぐに取りかかれたときは具体的に称賛する。 ・次時はA児がクイズを出題する役割であることを知らせ、意欲の継続を図る。